プログラム番号:29

子どもアドベンチャーカレッジ 2022

めざせ！まちの防災博士！

＜開催概要＞

【実施団体】 横浜市 防災まちづくり推進課

【実施目的】 まちの名前から、"そのまちがどういうまちなのか"を学び、まちの持つ"魅力"や"災害リスク"などを考え、"効果的な防災行動は何か"を学ぶきっかけをつくる

【実施日時】 8月17日(木) 9:00-12:00

【実施会場】 横浜市庁舎 17階会議室

【参加児童数／同伴者数】 9名／6名

【プログラム内容】 第1部(講義)

地名や航空写真、歴史地図等からまちを分析し、防災行動を学ぶ

第2部(ワークショップ)

災害発生時やキャンプにも使える防災テクニック「簡易ランタン」でアートに挑戦

当日の様子

子どもアドベンチャーカレッジ 2022

▲まちの名前から地形などまちを分析

▲ﾌﾟﾛｼﾞｪｸｼｮﾝﾏｯﾋﾟﾝｸﾞで延焼被害のイメージを学ぶ

▲ライトとペットボトルでつくる簡易ランタンWS

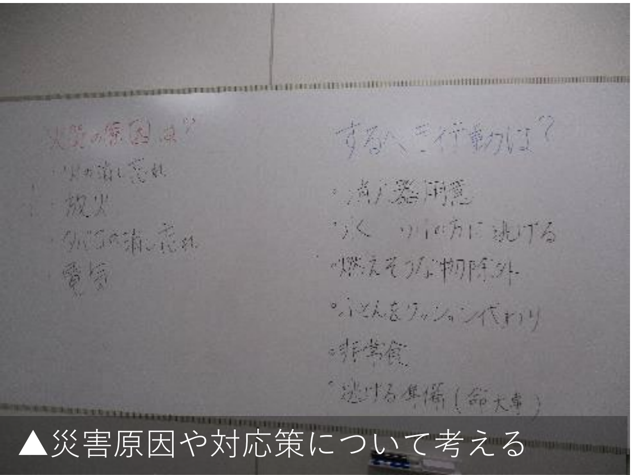
▲絵や装飾することで楽しく防災テクニックを学ぶ

振り返り会

子ども
アドベンチャー
カレッジ
2022

▲学生スタッフによる振り返り会の様子

▲ランタンアートの作例



▲災害原因や対応策について考える

▲好きな装飾を施したランタンアート

▲つくった作品をみんなの前でお披露目

プログラムの実施を通して

子ども アドベンチャー カレッジ 2022

- “防災”という、少し難しいと思われる内容に興味を持ってもらうには、**「別視点でのアプローチ」**が効果的

ex.）災害から命を守る → 延焼被害をﾌﾟﾛｼﾞｪｸｼｮﾝﾏｯﾋﾟﾝｸﾞで見る

→ 敵から逃げるゲームの感覚で命を守る行動を学ぶ

- 相手に何かを伝えたいのであれば、**“双方向のやりとり”**が重要

→相手にも考えてもらい、意見を述べてもらうことで理解度が増す

- “**子ども**”同士の交流の場であり、普段関わらない人（**行政**）とも関われる。また、同じ志を持った人（**学生**）と関われる機会でもあった。

＝ **“地域”と“若者”をつなぐ場** となっている。

- 参加した児童だけでなく、付き添いの方々も一緒に楽しんでいた。

＝ 身近な存在の楽しむ姿を見ることで、**学びの意識を高められる。**

- いろんなタイプの人がいる中、“対応の柔軟性”や“話しやすい雰囲気づくり”が大事

→それぞれの**個性を生かした場づくりを意識したい。**

全体を見て、参加者**みんなが楽しめるような場をつくりたい。**